

## 【1 分解説】ベアとは？

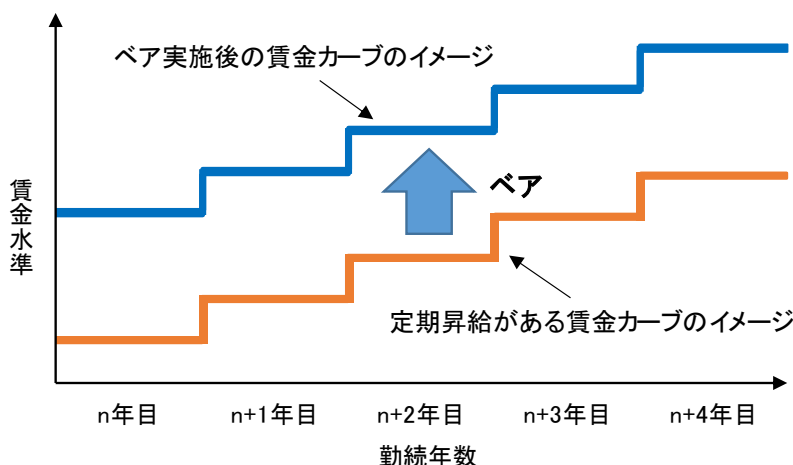
総合調査部 マクロ環境調査グループ 副主任研究員 奥脇 健史

ベアとは「ベースアップ」の略で、社員の基本給の水準を一律で引き上げることを指します。いわゆる「賃上げ」に関わる施策で、毎年春闘の時期を中心にメディアなどで注目されます。その他の施策には「定期昇給（定昇）」もありますが、定期昇給が各企業の賃金制度のもと年齢や勤続年数などに応じて昇給を行うものであるのに対し、ベアは各企業の賃金カーブそのものを引き上げる施策となります（資料）。

ベアは社員の待遇改善につながる一方で、企業にとっては人件費の増加になります。また一般的に、一度上げた給与水準を下げることも困難です。そのため、バブル崩壊以降、日本経済の低迷やデフレが続くなかでベアに対する企業の消極的な姿勢が続きました。

物価上昇や諸外国と比較して低迷する日本の賃金水準に注目が集まるなかで、2023年の賃上げ率は約30年ぶりの高水準となりました。2024年もデフレ完全脱却に向けて、ベアを中心とする賃上げを政府や労働組合の全国組織である連合に加え、経団連をはじめとする経済団体も広く呼びかけています。このような状況のなか、人材の確保や「人への投資」の観点からベア実施を表明する企業が増加しています。高まった賃上げ機運が今後も継続していくかが注目されます。

資料 ベアのイメージ



(出所) 第一生命経済研究所作成

### 関連レポート

- ・「注目される『労働移動』と過渡期を迎える日本の雇用～働き手にとって魅力的な職場とは？～」(2022年12月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/218492.html>
- ・「【1分解説】春闘とは」(2023年1月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/230354.html>
- ・「よく分かる！経済のツボ『賃上げにはどのような方法があるのか？』」(2023年11月)<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/290304.html>